





1. 操作ボタン

ボタンの種類	機能	ハザード	音	備考
ロックボタン 	ロックし、監視モードになります。	1回	2回	センサー監視オフの場合、音は1回
アンロックボタン 	アンロックし、監視モードを解除します。	3回	3回	監視中異常ありで、音は4回または5回
サーチボタン 	カーサーチ機能 (ロケーター機能ともいいます。)ハザードが30秒間点滅します。	点滅	-	途中フォグボタンを除くいずれかのボタンを押しても止まります。
フォグボタン 	フォグランプのオン/オフができます。	-	-	

2. 内部スイッチの設定(必ず受信機のすべてのコネクタを抜いた状態で設定して下さい。)

スイッチの種類	機能	備考
JP1	自動再ロック機能: 間違ってもアンロックボタンを押しても30秒以内にドアを開けなければ自動的に再ロックする機能	ショート(黒コネクタ付ける):機能オフ オープン(黒コネクタ外す):機能オン
JP2	自動アンロック機能: ACCをオフしたときに(10秒以上ACCをオンした場合に有効)アンロックさせる機能	ショート(黒コネクタ付ける):機能オフ オープン(黒コネクタ外す):機能オン (純正車速ロック付き車両に便利です)

3. 標準機能(標準と記載)と各種オプション(主なものの抜粋)

標準機能とオプション( )	機能説明	操作方法
サイレント機能(標準)	ロック・アンロックするときにアンサーバック音を出しません。	サーチボタン ロックまたはアンロックボタン
フォグランプオン/オフ(標準) 3CHリモコン場合は使用不可	フォグボタンを押すと点灯、もう一度押すと消灯します。	フォグボタン
ボイスアンサーバック( )	ロック・アンロックしたときに音声でアンサーバックします。	詳細はボイスモジュールの説明書
パワーウィンドウ連動( )	リモコンでパワーウィンドウやサンルーフを開閉できます。	ロックボタンの長押しでPWが閉 アンロックボタンの長押しで開 車両の仕様によります。

4. キーレス連動フォグアンサーバックの詳細説明

アンロックすると内部のフォグリレーがオンします。(ライトオン) イグニッションキーをACCにすると出力がオフします。(ライトオフ) また、1分以内または2分以内(設定による)にイグニッションキーをACCにしない場合も出力がオフします。イグニッションキーをオフした場合(ただし、10秒以上ACCをオンした場合に有効です。)に出力がオンします。設定によりオンさせないことも可能です。いずれの場合もロックすると出力がオフします。

5. 各種設定方法 (ACCのオン・オフで各種設定が可能です。ACCオフ状態から設定して下さい。)

設定が完了すると音とハザードの回数で設定内容と完了を通知します。(表内1回か2回で表現)

設定機能	機能説明	ACC操作方法
フォグランプ自動消灯時間設定	アンロックしてから、またはキーオフしてから自動的に消灯する時間を1分(1回)か2分(2回)に設定します。(出荷時1分)	オン オフ(最後はオフ)を4回6秒以内に行う。
ACCオフ時フォグランプをオンまたはオンしない設定	ACCオフ時フォグランプをオンする(2回)かオンしない(1回)かを設定します。(出荷時オン)	オン オフ(最後はオフ)を6回9秒以内に行う。
ドア開時フォグランプをオフまたはオンしない設定	アンロックしてドア開時フォグランプをオフする(2回)かオンしない(1回)かを設定します。(出荷時オフ)	オン オフ(最後はオフ)を8回12秒以内に行う。

上記設定は、ACCオン状態で10PIN大カプラーを挿すと出荷時の状態に戻ります。

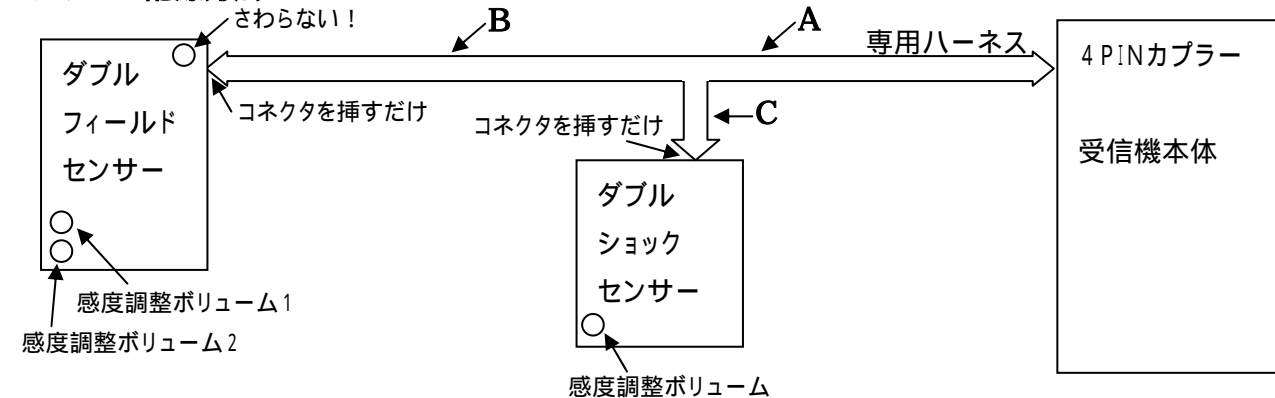
6. 10ピン小および4ピンカプラーの配線表(10PIN大カプラーのキーレス部分は別紙「キーレス基本結線図」参照)

ケーブル線色	説明と主な接続先
茶	接続不要
赤	接続不要
橙	接続不要
黄	フォグランプへ(内部フォグリレーのNO出力) 接続
緑	フォグランプへ(内部フォグリレーのCOM出力)
青	フォグランプへ(内部フォグリレーのNC出力)
紫	スキャナー出力(-) 当社スキャナーの黒線へ接続
灰	ボイスモジュールや外部スキャナー出力(-) ボイスモジュールの橙線へ接続
白	ドアトリガー線(-) 車両のドアを開けたときにアースに落ちる線へ接続
黒	ACCへ接続 (必ず接続して下さい。)
注意事項	印の線は接続しなくても問題ありませんが、必ずテープ等で絶縁してください。

24V車はボイスモジュールや12Vスキャナーは接続できません。

CN3 4ピンセンサーカプラー線色	説明と主な接続先	
赤	黒	センサー用電源 赤は+12V 黒はアース
青	緑	青は警報信号(重度異常検出)入力 緑は警告信号(軽度異常検出)入力

7. センサーの配線方法



8. ダブルフィールドセンサー・ダブルショックセンサーの設置方法

- フィールドセンサー本体は、車内の中心付近に取り付けてください。樹脂等の裏側でも問題ありません。  
**注意:** 車両の両サイドのガラスにプライベートガラスや断熱ガラスなどが使用されていたり、金属含有率の高いウィンドフィルムが貼っている場合は、車外の人を感知できない場合があります。ただし、ドアを開けた瞬間に感知し、サイレンが鳴ります。
- ショックセンサー本体は、強化したい場所(例:運転席ドア等)の近くに取り付けてください。他の場所でもかまいませんが、両面テープでしっかりと固定してください。防音材の上の方が良い場合があります。
- オプションのセンサーオフスイッチを接続するとセンサー機能を任意に制御(オン・オフ)できます。

	赤線を切断してスイッチを接続	青線を切断してスイッチを接続	緑線を切断してスイッチを接続
図のAの場所	両方のセンサーの機能を制御	両方のセンサーの警報を制御	両方のセンサーの警告を制御
図のBの場所	フィールドセンサーの機能を制御	フィールドセンサーの警報を制御	フィールドセンサーの警告を制御
図のCの場所	ショックセンサーの機能を制御	ショックセンサーの警報を制御	ショックセンサーの警告を制御

9. 接続時の注意事項

カプラーは、最初に小カプラーを挿し、次に大カプラーを挿してください。内部のコンピューターが学習しますので、2回リレーの音(サイレンとハザード)が鳴るまでお待ち下さい。その間、絶対にリモコンや内部スイッチは操作しないで下さい。内蔵のフォグリレーでは、車両のフォグランプを直接駆動できませんので、別売のパワーリレーをご使用下さい。

## 10. 警告と警報の仕様について

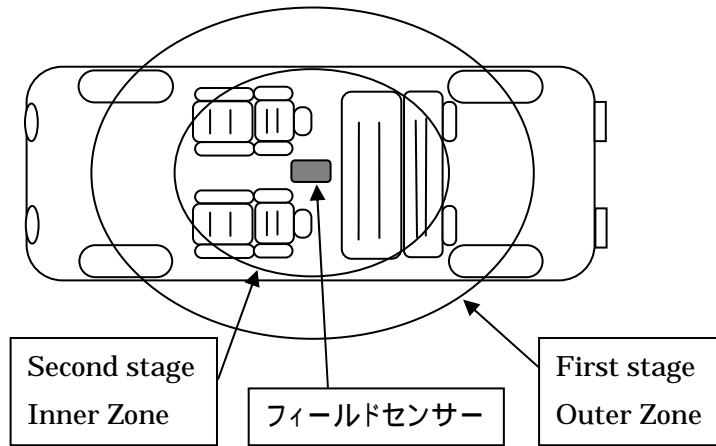
- (1)軽度の異常を検知するとキュ・キュと2回警告音が鳴ります。それから約15秒以内に再度検知した場合、4回警告音が鳴ります。同様に6回、8回と警告音が鳴りますが、次に感知した場合は、約15秒間サイレンが鳴り、同時にハザードとスキャナも高速で点滅します。サイレン停止後は、ハザードとスキャナは引き続き60秒間点滅します。警告してから15秒間何も検知しなかった場合、次の警告は2回から始まります。
- (2)重度の異常を検知するサイレンが30秒鳴り、同時にハザードとスキャナも高速で点滅します。サイレン停止後は、ハザードとスキャナは引き続き60秒間点滅します。
- (3)警報を途中で解除する場合は、ロック・アンロック・サーチいずれかのボタンを押します。

## 11. セキュリティ監視方法

### ダブルフィールドセンサー

ダブルゾーンで監視しています。外側のゾーンで人を感知するとフィールドセンサーの緑LEDが点灯し警告信号が出ます。内側のゾーンで人を感知するとフィールドセンサーの赤LEDが点灯し警報信号が出ます。(前記参照)

フィールドセンサーの調整方法は、まず、感度調整ボリューム1で行います。これは、外側のゾーンの調整を行います。右に回すと感度が良くなります。次に感度調整ボリューム2で Second stage (Inner Zone)の感度を調整します。右に回すと感度が良くなります。(いずれも調整ボリュームの真ん中よりやや左が最適な目安です。)



### ダブルショックセンサー

衝撃の度合いを2段階で感知します。軽度の衝撃を感知すると警告信号が出ます。大きな衝撃を感知すると警報信号が出ます。

### ドアトリガー・ボンネット開センサー

ドアやボンネットが開くと感知し、サイレンが鳴ります。一度感知すると監視モードが解除されるまでドアトリガーの監視は行いません。(ドアを開けられたまま逃走された場合、サイレンが鳴り続けるのを防止するため。ただし、センサー監視は続けます。)ロック中は、ドアトリガー線は常時監視しています。(ドアトリガー異常による警報以降は除く。)

### トランクオープン時のセンサー監視

監視中にリモコンでトランクオープンした場合、センサーの監視を停止し、ドアトリガーのみ監視します。(トランクオープン時のショックセンサーの感知を防止します。)ロックボタンを押すと再びセンサー監視を行います。

### LEDスキャナ

監視中、LEDスキャナが点滅します。センサー監視を行っているときは、明るく点滅します。ドアトリガーのみ監視しているときは、暗く点滅します。

## 12. セキュリティ監視中にバッテリーを外された場合について

- (1)ロックしてセキュリティ監視中にバッテリーをはずされ、その後バッテリーを接続した場合、警報が30秒間行われます。これにより、セキュリティ解除の目的でバッテリーを外しても、監視が中断されることがありません。また、24V車の場合、別売のバックアップサイレンをつなげば、バッテリーをはずしてもサイレンは鳴り続け、より厳重に車両を守ることが可能です。

## 13. CN2 10ピン小カプラーの配線図

